

## PIで出た意見一覧

No.	カテゴリー	意見等の概要	備考
1	感想等	出前講座を開催していただきまして、ありがとうございました。条例を知ることができました。普段あまり関心がありませんでしたが、これからは関心を持ち、市民として取り組んでいければと思います。ありがとうございました。	
2		少しでも市民として市民参画に協力できるよう努力したいと思います。委員の方々大変ですが、大好きな街白河のために頑張ってください。ありがとうございました。	
3		出張出前トークを他の地区でもやってほしい。	
4		出前トークありがとうございました。まだこれからの感はありますが、期待しています。	
5		自治基本条例の中身はおおまかに理解したつもりです。私たちも白河市民のよりよい生活を目指して協力していきたいと思います。	
6		大切な条例ですので、皆で頑張っていきたいし、市民会議の皆様大変ですが、よろしく願い申し上げます。	
7		条例について、とても分かりやすく理解することができました。現在の白河市をより住みやすくすることはもちろんですが、子どもが成長し大人になっても、白河市から出ていきたくないと思うような「まちづくり」を進めていくことが大切だと感じました。これには、少子高齢化の問題、厳しい財政状況の課題に強く結びつくことだと考えます。	
8		広報誌に事前に情報が寄せられていたことは、大変よかった。	
9		普段聞きなれない文章を聞き、戸惑いを感じました。	
10		こういうものがあることを、初めて知りました。	
11		日頃行政に関わる機会が少ないので非常に難しいイメージがあります。条例策定にあたり市民が白河に住んでいて良かったと思える(実感)条例をつくっていただければと思います。	
12		考え方としては良いと思います。ただ大切だと思うのは、これを実行すること。市を支えていく「担い手(子どもや若者)」を育てていくのは一番の課題と考えます。いかに子ども達が白河を好きになり、残っていたい(帰ってきたい)と思うか。白河は子育てには最高の街です。私も一度は離れ、また戻り就職、結婚、出産、子育てをしています。出産や子育てにお金がかからない子ども達向けの遊び・学びの場や施設の充実が必要だと思えます。地元の祭りの復活も願います。祭りなどを通して町内の人達とのコミュニケーションがはかれると思えますし、活気がでてくるのではないかと思います。共働き、核家族化、子育ての教育で忙しいなど全員参加は難しいですが、少しずつ無理のない範囲で楽しく居心地のよい街づくりができたらと思います。一市民として是非協力したいと思っています。	

No.	カテゴリー	意見等の概要	備考
13		旧白河市だけではなく、白河市全体でのもの、旧4市村で一体となれるようなものにしてほしい。	
14		市民が安全・安心・快適に、そして充実した生活ができるように、自治基本条例ができつつあることを知り、すばらしいことだと思いました。何年か前からこのように取り組んでいたことを今頃知り、私だけが情報を知らなかったのか、無関心でいたのか。これらのことを各地域でどのくらい取り上げ話し合っていたのだろうかと思います。	
15		白河市の思いや動きがわかる良い機会でした。条例素案からどのように発展されるのか、一員として今後が楽しみです。	
16		一時期の白河は本当に何も無い、街中に人がいない本当に寂しい街になってしまったと感じていました。 今は白河を活気のある街にしようと頑張っている人達も沢山いて、新しい施設ができたり、ダルライザーやダイスなどのキャラクターも人気があり、図書館も新しくなって、沢山の人が利用している(私も)。 頑張っている人達ももっと頑張れて、まわりの人達も巻き込まれて、人の輪が大きくなっていけばもっと楽しい白河になると思います。	
17	条例の形	総じて様々な法律や条例の文章は読みにくく、一つのことを調べようとすると、色々な法律や条例を参照しなければいけない。そうならないようにしてほしい。	
18	実行	文章にすることは大事だが、それ以上に実行に移すところにもっと力を入れてほしい。	
19		自治基本条例をまとめて終わりではなく、アウトプットをきちんとしてほしい。	
20		内容は大賛成。是非実行してほしい。	
21		このような機会は大変よかった、絵に描いた餅にならないようにしてほしい。	
22	策定過程	各地域の小単位(色々な会合)で話し合っ、素朴な疑問・要望を吸い上げていき、各自治会がまとめ、各地域間の話し合いの場を持ち、白河市の地域性を考慮しながら作り上げていってほしいと思います。	
23		市民参加等大変良い考えと思いますが、絵に描いた餅にならないよう、スケジュール化して実施してほしい。	
24		自治基本条例の制定については、はっきりとタイムスケジュールを作り、目標を持って進めることも大事ではと思う。特に危機管理については、スピードが最も重要なのではと思う。	

No.	カテゴリー	意見等の概要	備考
25	必要性等	地方分権のために自治基本条例が必要ということではなく、この条例をつくることで、地方分権の目指す自主自立ができるという流れではないのか。	
26		「自治基本条例とは」の文言の最初に白河市地域住民の安全・安心して暮らせる街づくりを入れて進めてほしい。	
27	前文	市民の意見を取り入れ、市民の生活がより良いものになるよう、地域のつながりが強くなるように、実現されることを期待しています。	
28		とても分かりやすく整理されていると思う。 前文の「市民共楽」について、この言葉見た人が共通したまちづくりのイメージを持てるように、具体的にどのようなまちを目指すのか説明を加えた方がいいのではないか。	
29		白河の歴史や文化等よくわかっていないが、白河の素敵などころを残してほしい。	
30		説明資料の「自治基本条例に込めた願い」という表現があるが、「願い」というフレーズを前文の中にも入れると、より暖かい条例になるのではないかと。例えば、「私たちの願いとして、この自治基本条例を制定しました。」など。	
31		みんなの利益という意味の「公益」という言葉があると、「共に楽しむ白河」につながっていくのではないかと。	
32		白河の元気は市内の活性化にあると思います。既に取り組んでいただいていると思いますが、人が集まり楽しめるような、元気な白河づくりをお願いします。	
33		人口が増えないと活気は生まれず、まち自体活性化もしない。人口を増やしていくことを考えないといけない。	
34		市のビジョンは。明るいまちづくりとあるが、どのようなまちなのか。まとめられた基本条例が今後のまちづくりへ活かされること期待します。	
35		白河の歴史を他に自慢できる何かをつくってほしい。	
36	定義	ボランティア団体等が「事業者等」に含まれるということがいまい伝わらないので、「事業者等」の定義に事例としてボランティア団体という表現を加えるなど、工夫してほしい。	
37	まちづくりの基本理念	理念はわかるが、具体的なものが見えないといけないのではないかと。	
38		今流行りの「絆」の言葉がありますが、白河市民らしさを考えたとき、古いですがまだ「相相互い」の精神がたくさんあると思います。そんな言葉を市民から募集し、その言葉に向かった白河市民らしさのある言葉に向かって一体感のある基本条例づくりを願います。	

No.	カテゴリー	意見等の概要	備考
39	まちづくりの基本原則	市民の意識改革が必要。	
40		各市民が色々な行政活動に参加し意識をもっていくことは、大変良いことだと思う。	
41	まちづくりの主体	説明資料の中のまちづくりの主体の図について、市民、市議会、市が同じ立場でまちづくりに関わっているということがより伝わるように修正してはどうか。	
42	情報の共有	条例が市民に浸透し実行できるような方法を、広報ばかりでなくあらゆる機会にやってほしい。	
43		地域づくりをする時に、情報と資金が伴わない。これをきちんと整えてほしい。	
44		情報の提供が大切。	
45		市の活動内容等を広く知らせてほしい。	
46	市民参画	「PDCAサイクル」をまわすルールを必ず作成して運営してください。	
47		絵に描いた餅にならないように、「PDCAサイクル」をきちっとまわしてください。	
48		市民への参画をどう手立てするかが問題。	
49		働き盛り、子育て盛りの人たちの要望がたくさん聞けるような手立てをとってほしい。	
50		市民のためのまちづくりなのだから、市民参画の機会を平等にということでは、こちらから動き出すのかどうか、またどのように取り組むのか知りたい。	
51		今後この白河市を担う若者たちが、この白河に生きがい(魅力)を感じ、人口が増え、活気あるものにするためには、若者たちの意見を重視していかなければとも思います。	
52		原発事故の影響で、子どもの県外への流出が進んでいる。子どもにも夢を持たせることができるように、子どももまちづくりに参画していけるようにできればと思う。	
53	協働	市民と市とが対等の立場で協働に取り組むということを規定していただいた。これからの新たな協働のスタートラインと言えるのではないか。	
54		説明資料の中の協働の図について、市民、市議会、市が連携・協力して課題の解決に取り組むということがより伝わるように修正してはどうか。	
55		地域づくりには市との情報共有が大切。市には、例えば、この補助金を使ったらこの団体はもっとよくなるというような視点で、団体等をみていただければ、いいまちづくりができると思う。	

No.	カテゴリー	意見等の概要	備考
56		市と協働しようと思っても、どこに相談したらいいのか分からなかったが、この基本条例ができることで、そういった問題が解消していけばいいと思う。	
57		公共マナーや道徳が軽んじられている昨今です。しかし会津地方は今でも学校の教育の場では、「ならぬものはならぬものです」等の精神教育も大切にされています。親や目上の人に対して尊敬する心や年下の者への思いやり等は、現代の若者は、あまりにも自分の利益のみを追求しており、他人や周りの人へのおもいやり等は小さいときから社会全体で教えていくものと思われます。「個人の利益より公共の利益を優先する」今から40～50年前は住みよい社会でした。	
58		東日本大震災を経験し、やはり近所・地域の方との助け合い・連携は大事にしないとけないし、もう少し地域のイベント等に参加して顔見知りにならなければいけないと思いました。	
59	危機管理	危機管理については、十分に検討してください。	
60		危機管理の部分で、警察、消防等の役割が見えていない気がする。	
61		東日本大震災を経験して、危機管理に対する防災計画を推進すること、強く願っています。	
62		発電設備（風力・水力・太陽光）等お金を生む自治体を作る（税金ではなく）事業が大切ではないか。	
63		市民歌のPRをもっと行ったほうがいい。	
64	その他の政策等に関するご意見	市民歌の内容が旧白河市の内容に偏っていて、旧3村地域では歌いたくないという人もいる。	
65		効率化のもとに予算を削るためのものにならないでください。	
66		今回はあくまでも基本であり、一步踏み込んだ具体的なものはこれからになると思います。中でも一つ福祉についてお願いがあります。今や高齢化社会を迎え、まったなしの状況です。年金で老後を安心して暮らせる条例の制定をお願いします。	